

3日 土曜

民数



からの豊かなぶどう酒と同じように、あなたがたの奉納物と見なされる。

18:28 こうして、あなたがたもまた、イスラエルの子らから受け取るすべての十分の一の中から、【主】への奉納物を献げなさい。その中から【主】への奉納物を祭司アロンに与えなさい。

18:29 あなたがたへのすべての贈り物のうち、それぞれの最上の部分で聖別される分から【主】へのすべての奉納物を献げなさい。

18:30 また、あなたは彼らに言え。あなたがたが、その中からその最上の部分を献げる時、それはレビ人にとって打ち場からの収穫、踏み場からの収穫と見なされる。

18:31 あなたがたとその家族は、どこでもそれを食べてよい。これは会見の天幕でのあなたがたの奉仕に対する報酬だからである。

18:32 あなたがたが、その最上の部分を献げるとき、そのことで罪責を負うことはない。ただし、イスラエルの子らの聖なるささげ物を汚して、死ぬようなことがあってはならない。」

レビ人は幕屋の奉仕にあたる者ですから、神の聖なることを表すために、主ご自身の命令にしっかりと従う必要がありました。当然、畑や牧畜をする時間はありません。フルタイムで働くことを主は要求なさったということでしょう。

レビ人には他の部族のように土地は与えられませんでした。そこで主は「イスラエル人が、奉納物として主に供える十分の一を、わたしは彼らの相続財産としてレビ人に与える」と言われました。主は御自信のために働く者を決して乏しくさせないのです。

またレビ人の報酬をイスラエルの献げもので満たすということは、主の働き人を支えるという良

識を持つようにされたということでしょう。これは現在でも同じであり、そのようにパウロも勧めています。安心して主の働きを担いましょう。主が良くしてくださいます。なな主の働き人を支え合いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18:20 【主】はまたアロンに言われた。「あなたは彼らの地で相続地を持ってはならない。彼らのうちに何の割り当て地も所有してはならない。イスラエルの子らの中にあって、わたしがあなたへの割り当てであり、あなたへのゆずりである。

18:21 さらに、レビ族には、わたしは今、彼らが行う奉仕、会見の天幕での奉仕に報い、イスラエルのうちの十分の一をみな、ゆずりのものとして与える。

18:22 これからはもう、イスラエルの子らは、会見の天幕に近づいてはならない。彼らが罪責を負って死ぬことのないようにするためである。

18:23 会見の天幕の奉仕をするのはレビ人であり、レビ人が彼らの咎を負う。これは代々にわたる永遠の掟である。彼らはイスラエルの子らの中にあって相続地を受け継いではない。

18:24 それは、イスラエルの子らが奉納物として【主】に献げる十分の一を、わたしが相続のものとしてレビ人に与えるからである。それゆえわたしは、彼らがイスラエルの子らの中で相続地を受け継いではない、と彼らに言ったのである。」

18:25 【主】はモーセに告げられた。

18:26 「あなたはレビ人に告げなければならぬ。わたしがあなたがたに相続のものとして与えた十分の一をイスラエルの子らから受け取る時、あなたがたはその十分の一の十分の一を、【主】への奉納物として献げなさい。

18:27 これは、打ち場からの穀物や、踏み場